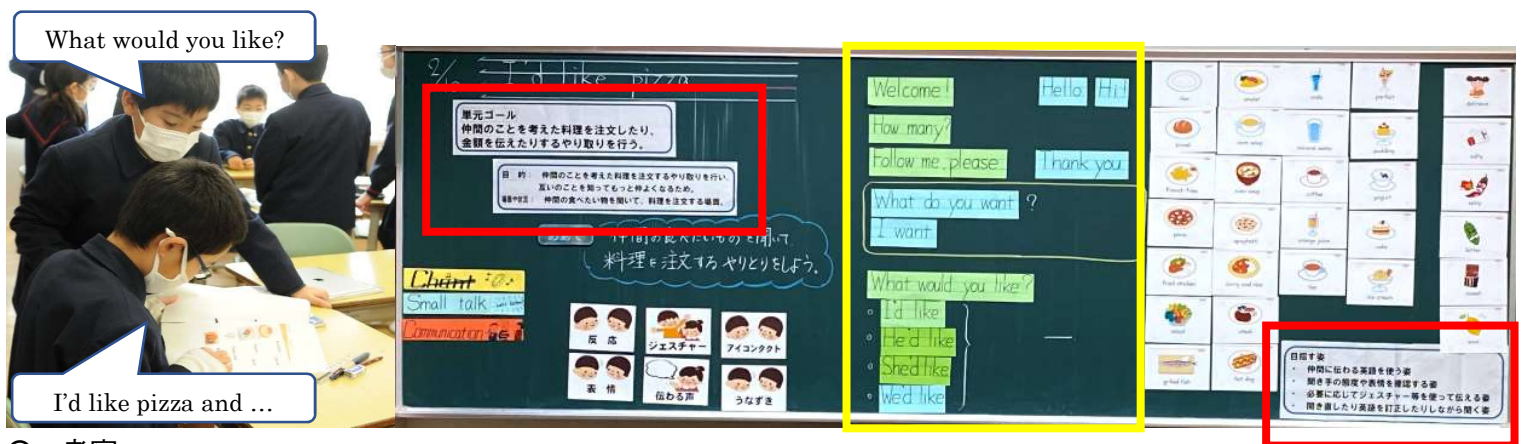


学年	教科等	単元名	日時
第5学年	外国語科	I'd like pizza. 料理・金額	令和3年2月10日(水)3校時
研究内容1の手立て	<p>本単元では、子どもの意欲を持続させ、英語表現に慣れ親しませるために、導入において以下の手立てをとる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ スモールトークを充実させ、段階に応じたやり取りを基に、子どもに課題意識をもたせるようにする。 ○ 新出表現についてチャンツで繰り返し発話したりデジタル教材を活用した会話の視聴を行ったりする。 <p>本時は、導入で単元ゴールのイメージを確認し、スモールトークをとおして料理の注文に必要な英語表現等の意味を推測しながら聞かせる。そうすることで、子ども一人一人が単元ゴールのイメージを実現するために、どのような英語表現等が必要かをつかませ、モチベーションを持続させることができるようにする。</p>		
研究内容2の手立て	<p>本単元では、「もっと仲間と伝え合いたい」という気持ちをもたせるために以下の手立てをとる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 次時の学習につながる内容を出すことができるように、自分の課題を仲間と交流できる時間を確保する。 ○ 仲間について知らなかったことを知ることができたときの気持ちについてふりかえらせる視点を設定する。 <p>本時は、代表の発表を全体で視聴し、自他のよいところを共有させる。そうすることで自分や仲間の英語や表情、反応等のよいところに気付かせ、伝え合う楽しさを実感させることができるようにする。本時めざす姿とはどのような姿なのか、全員が共有したうえでふりかえりをさせることで、代表と同じように自分たちもできたところを意識して自分や仲間の表現力の高まりを実感することができるようにしていきたい。</p>		

○ 子どもの姿からの報告

- めあてをたてる場面
 - ・ 「仲間のことを考えて注文したい」「どんな表現をすれば伝わるかな」という思いをもっていた（板書写真の赤枠の部分）。
- 食べたいものを伝え合う場面
 - ・ 話し手も聞き手も、相手の表情から伝わっているかを確認するために、相手の目を見ながらコミュニケーションをとることができた。
 - ・ ALTの発音をよく聞いて、まねする姿が見られた。
- グループで注文のやり取りをする場面
 - ・ 尋ねることや答えることの順番を整理しながら、自分や仲間の食べたいものを丁寧に伝えることができた（板書写真の黄枠の部分）。
- 代表の子どものスピーチを視聴する場面
 - ・ 「うなずきながら英語で反応を返していた」、「相手に分かりやすいように、ゆっくりと話すことができていた」等の、仲間のよいところを学習プリントに記述することができていた。



○ 考察

- 仲間のことを考えて料理を注文する場面において、「仲間のことを考えて」とは具体的にどのようなことなのか、子どもと共有しておく必要がある。
- 語彙ややり取りで使う表現が増えると、例文を見ながら話してしまうことが考えられる。本時では、どの表現に重点を置きたいのかを考え、精選することも大切である。
- グループ活動の人数の意図も考えていく必要がある。また、やり取りをさせる際に、ただ時間を与えて活動させるのではなく、子どもに目的意識をもたせ、学びのあるコミュニケーション活動を設定することが大切である。
- 外国語の授業におけるタブレットの活用方法も検討していく必要がある。どの単元のどの活動で活用することが効果的であるのかについて、今後検証する必要がある。

御意見・御質問はこちら（研究部アドレス）

miyafuken@cc.miyazaki-u.ac.jp

○ 単元指導計画（7時間）

段階	主な学習活動及び学習内容	教師のかかわり ●研究内容1 ■研究内容2	具体的な評価規準
生み出す (2)	<p>1 単元ゴールのイメージからめあてを設定する。〈1時間〉 ○ 食べ物を表す表現</p> <p>2 イラストを見ながら音声を聞き、食べたい物や味を表す表現を聞き取る。〈1時間〉 ○ 食べたい物や味を表す表現</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>単元ゴール 仲間のことを考えた料理を注文したり、金額を伝えたりするやり取りを行う。</p> </div>	<p>第1～2時をとおして以下の2つの手立てをとる</p> <p>● 単元ゴールのイメージを確認し、食べ物を表す表現等を繰り返し発話させることで、必要な英語表現等に慣れ親しむことができるようにする。</p> <p>■ 学習のなかで気付いた表現の工夫や自分の課題をふりかえらせ、仲間と交流させることで、表現の高まりを実感できるようにする。</p>	<p>○ 発音を注意深く聞いたたり、真似して発音したりし、単元ゴールのイメージをもっている。 (態度) 【観察・記述分析】</p> <p>○ 料理を表す語彙を理解し、話を聞き取っている。 (知・技) 【観察・記述分析】</p>
挑む (3)	<p>3 料理を注文する会話を聞いて、話の内容を推測する。〈1時間〉 ○ 料理を注文するやり取り</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>“What would you like?” と聞かれたら、“I'd like～”で食べたい物を伝えることができるな。</p> </div> <p>4 料理を注文する表現に慣れ親しみ、やり取りをする。〈1時間〉 ○ 料理を注文する表現を使ったやり取り</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>“He would like pizza.”で仲間の食べたい物を注文できるね。</p> </div> <p>5 食事の感想や欲しい物の金額を尋ねる表現に慣れ親しむ。 ○ 料理の金額のやり取り 〈1時間〉</p>	<p>第3～5時をとおして以下の2つの手立てをとる</p> <p>● 教師のスマールトークから、料理の注文に必要な表現を推測しながら聞かせることで、どのような英語表現等が必要かを考えさせ、モチベーションを持続できるようにする。</p> <p>■ 代表の発表から、よいところについて意見を交換させることで、料理を注文するときの会話について、表現の高まりを実感できるようにする。</p>	<p>○ 食べたい物や表現について理解し、聞き取ったり、注文のやり取りをしたりしている。 (知・技) 【観察・記述分析】</p> <p>○ 料理の名前や注文の時に必要な語彙や表現について理解し、やり取りをしている。 (思・判・表) 【観察・記述分析】</p> <p>○ 注文の金額を聞いたり、答えたりしている。 (知・技) 【観察・記述分析】</p>
生かす (2)	<p>6 食べたい物を伝え合い、グループ内の仲間のことを考えた料理を注文するやり取りの準備をする。〈1時間〉 ○ 第1回リハーサル</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>〇〇さんは魚が好きだから、“She would like grilled fish.”だね。</p> </div> <p>7 相手に伝わるように工夫しながら、仲間のことを考えた料理を注文したり金額を伝えたりするやり取りを行う。〈1時間〉 ○ 最終リハーサル ○ 発表</p>	<p>第6～7時をとおして以下の手立てをとる</p> <p>■ 料理を注文する場面を想定した表現をつくらせる際、以下のような姿を全体で共有させ、称賛することで、相手に分かりやすく伝わるための工夫について意識できるようにする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 仲間に伝わる英語を使う姿 (大きな数はゆっくり繰り返して伝える) ・ 聞き手の態度や表情を確認する姿 ・ 必要に応じてジェスチャー等を使って伝える姿 ・ 聞き直したり英語を訂正したりしながら聞く姿 </div>	<p>○ 目的に沿って、相手に配慮して話そうとしたり、相手の話を理解しようとするためたりしている。 (態度) 【観察・記述分析】</p> <p>○ 相手に伝わるように工夫しながら、既習表現を生かし、やり取りをしようとしている。 (態度) 【観察・記述分析】</p>

本時
4/7

○ 本時の目標

単元ゴールのイメージをもち、料理の名前や注文の時に必要な語彙や表現を使ってやり取りができる。

○ 指導過程

学習活動及び学習内容	教師のかかわり ●研1 ■研2
<p>1 料理を注文する表現について、「目的」、「場面や状況」を確認し、本時のめあてを設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 既習表現のチャンツ ○ 本時のめあて <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 仲間の食べたい物を聞いて料理を注文するやり取りをしよう。 </div> ○ 教師によるスマールトークの視聴 <ul style="list-style-type: none"> ・ スマールトークの例 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> T : Hello. What would you like? C : Curry and rice please. T : O.K. Curry and rice. What else would you like? ⋮ </div> <p>2 既習事項を使い、食べたい物の伝え方や注文のやり取りに慣れ親しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 食べたい物の伝え方 ○ 注文のやり取り <p>3 HRT と ALT の会話を視聴し、食べたい物を伝えたり、注文のやり取りをしたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 料理を注文する会話の視聴 <ul style="list-style-type: none"> ・ 食べたい物の伝え方の例 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> T1 : What (main dish) do you want? C1 : I want ○○. ⋮ T1 : What dessert do you want? C2 : I want ○○. That's all. T1 : O.K. </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 注文のやり取りの例 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ALT : Hello. What would you like? HRT : We'd like one ○○, one △△ and □□. ALT : How many □□ would you like? HRT : Two please. ALT : O.K. Would you like drink? ⋮ </div> ○ 食べたい物を伝え合うやり取り ○ グループごとの注文のやり取り ○ 代表による発表 <p>4 本時の学習をふりかえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ふりかえりの内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分や仲間ができるようになったこと ・ やりたかったけれどできなかったこと ・ 新たに気付いた仲間のこと ・ 気付いたときの気持ち 	<ul style="list-style-type: none"> ● 単元ゴールのイメージから、本時は料理を注文する場面で、食べたい物を尋ねたり答えたりすることができるようになることを確認することで、見通しをもつことができるようにする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>目的： 仲間のことを考えた料理を注文するやり取りを行い、互いのことを知ってもっと仲よくなるため。</p> <p>場面や状況： 仲間の食べたい物を聞いて、料理を注文する場面。</p> </div> ● 料理の注文を伝える際に必要な英語表現等の意味を推測しながら聞かせることで、英語でやり取りをするモチベーションをもたせるようにする。 [構造化する] ○ 前時までに学んだ英語の語彙を使って、仲間とやり取りをさせることで、尋ね方や答え方に慣れ親しむことができるようにする。 ○ HRT と ALT の会話からの気付きを問い、板書に掲示して共有させることで、注文を考える際に、コミュニケーションのポイントを意識することができるようにする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>コミュニケーションのポイント</p> <p>伝わる声、アイコンタクト、表情、反応、ジェスチャー</p> </div> ○ 店員の聞き方や答え方などの定型文を掲示し、繰り返し発話させることで、注文のやり取りをスムーズに行うことができるようにする。 ● 単元ゴールで、「仲間のことを考えて料理を注文する」ことを確認し、本時のやり取りの体験が単元ゴールのイメージにつながることを意識させることで、活動への意欲を高めるようにする。 ○ グループで料理を注文するやり取りをさせ、よさを伝え合わせることで、相手意識や自他の表現力の高まりを実感することができるようにする。 ■ 本時めざす姿について、めあてに立ち返らせて学習プリントにふりかえりを書かせることで、コミュニケーションの楽しさや、表現力の高まりについてふりかえることができるようにする。

○ 本時の評価規準

単元ゴールのイメージをもち、料理の名前や注文の時に必要な語彙や表現について理解し、それらを用いてやり取りをしている。
 (思考・判断・表現)【観察・記述分析】